

データあり

令和 7 年 1 月 9 日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園

担当 動物園 今西・佐橋

TEL 782-2114

(午後 7 時 15 分まで職員が待機します)

カバの「重吉」が死亡しました

本日（令和 7 年 1 月 9 日）、東山動植物園で飼育展示していたカバの「重吉」が死亡しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1 死亡個体

- ・ 種 名：カバ
- ・ 性 別：オス
- ・ 愛 称：（三代目）重吉
- ・ 年 齢：27 歳（1997 年 12 月 12 日アドベンチャーワールド生まれ）

2 死亡までの経緯

昨年春頃から足腰の状態が悪化し、最近ではふらつくことが多くみられるようになったため、12 月 24 日から展示中止としていました。飼育員、獣医師によるケアのもと屋内でゆったりと過ごしていましたが、徐々に採食量も減り、起立が難しくなっており、本今朝に死亡しているのを飼育員が確認しました。

3 死亡原因

腸炎

4 エピソード

- ・ 平成 13 年に来園した際に、二代目「福子」と共に、三代目「重吉」の襲名式及び結婚式が開催されました。
- ・ マイペースな性格で、周囲の環境に動じることなく、穏やかに生活していました。
- ・ 暑い日には、プールで長時間過ごすことを好み、鼻先だけを水面に出して浮かんでいる姿は、多くの来園者を和ませてくれ、時折見せる、大きな口を開けた迫力満点の姿が印象的でした。
- ・ 平成 15 年、現在飼育しているメスの二代目「福子」との間に「小福」というメスの子を儲けました。小福は現在、富士自然動物公園（富士サファリパーク）で暮らしています。

5 献花台について

令和7年1月10日（金）から1月19日（日）まで、北園カバ舎に設置します。

【参 考】

■東山動植物園のカバ飼育数

重吉の死亡により、メスの「福子」1頭の飼育となりました。

■国内のカバ飼育頭数（2023年末時点）

25施設42頭（オス17頭、メス25頭）

■カバについて

ワシントン条約附属書Ⅱ表、IUCNレッドリスト：VU（危急）

学 名：*Hippopotamus amphibius*

英 名：Hippopotamus

体 長：3.5～4m

体 重：1.2～2.6 t

分 布：アフリカ大陸のサハラ砂漠以南

生態等：頭部は大きく、顔の側面上部に眼・鼻孔、外耳が一直線に並んで突き出している。水中からこの部分だけを出して外の様子をうかがうことができる。顎の筋肉が発達しており、口を150度まで開くことが出来る。この巨大な口腔内には先のとがった門歯と犬歯が生えている。下顎の犬歯は40～50cmにも達することがあり、闘争時には強力な武器となる。1日のほとんどを水中で過ごし、10～20頭の群れで生活していて、交尾や出産も水中で行う。5分程度の潜水が可能で、鼻孔や耳を閉じることが出来る。比重が水よりわずかに重いため、水底を歩くようにして移動する。泳ぐことは出来ない。陸上では40km/h以上で走ることが出来る。草食性で夜間の安全な時間帯に草原の草を採食している。妊娠期間は210～240日程度。1産1子。寿命は約40年。

■写真



在りし日の重吉（令和6年8月26日撮影）